

平成 31 年度（令和元年度）センター事業報告書

スポーツトレーニング教育研究センター長 山本 正嘉

I. 主に取り組んだ事業（特記事項）

1. アスリートドックプロジェクト

本学の様々なスポーツ種目の学生を含めて、子供からシニア選手までの幅広い年代の、多様な競技種目のアスリートを対象として、競技力向上のための体力・技術の評価を行い、それをフィードバックする「アスリートドックプロジェクト」を実施するとともに、それらの成果を学術論文として公表した。

2. 子供の体力向上プロジェクト

本センターの研究協力校と連携し、学校教育の中で実施可能な、児童生徒の体力を増進するための運動プログラムを開発する「子供貯筋プロジェクト」を実施するとともに、それらの成果を学術論文として公表した。

II. 事業報告

1. 教育（授業に関するものを除く）プロジェクト

該当なし

2. 研究プロジェクト

① アスリートドックプロジェクト

本学の競技選手（サッカー、バスケ、柔道、自転車など）を対象とした研究

高校生の競技選手（自転車競技および柔道）を対象とした研究

小・中学生の柔道選手を対象とした研究

スポーツ選手・登山者のための低酸素トレーニングプログラムの開発

② 学校現場で活用できる体力向上を促す運動プログラムの開発

小学生を対象とした研究

3. 社会連携・社会貢献プロジェクト

① 鹿児島県教育委員会と連携して、スポーツ指導者のための再研修セミナー「スポーツリフレッシュセミナー」を、1泊2日で開催した

② 福岡県柔道協会・九州柔道協会と連携して、福岡県小・中学生柔道選手ならびに九州各県の中学生選抜選手の体力測定を実施した

4. その他

① スポーツカウンセリング室を運営した

*以上の事業に関する報告の詳細は『スポーツトレーニング科学』21 巻（1-74 頁）に記載

III. 決算報告

1. 教育プロジェクト関係

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	0 千円	
物件費	0 千円	
その他	0 千円	
計	0 千円	

2. 研究プロジェクト関係

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	5 8 千円	研究協力校に対する謝金
物件費	3, 1 6 9 千円	消耗品、修繕費等
その他	6 4 9 千円	図書購入費、旅費等
計	3, 8 7 6 千円	

3. 社会連携・社会貢献プロジェクト関係

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	0 千円	
物件費	4 3 6 千円	ニューズレター
その他	1 7 9 千円	研究協力担当教員旅費、ニューズレター発送費等
計	6 1 5 千円	

4. その他

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	3 3 1 千円	カウンセリング室運営
物件費	4, 4 1 0 千円	トレッドミル一式等 (10/25 令和元年度鹿屋体育大学補正予算)
その他	5 3 8 千円	運動機能測定室床工事費等
計	5, 2 7 9 千円	

IV. その他

1. 発刊物

『スポーツトレーニング科学』第21巻の刊行（令和2年3月）

『トレセンニューズレター』第23号の発行（令和1年12月）

2. 開催会議状況

本センターの協力校等連絡会議の開催（令和1年7月）

3. 広報活動

学内共同利用施設であるため、学外への広報活動は行っていない

4. センター利用促進策の成果

特記事項なし

5. その他

特記事項なし